

調査事項 環境施策について

今後の環境ひろばに関する経過

1. 令和8年3月15日開催の環境ひろば全体会の議事要約（市作成）から

（1）市が伝えたこと

- ・現状維持では先々が見通せない。
- ・現状維持を望むのであれば自主的な活動を勧める。
- ・実務・実利を重視している。
- ・将来を見据えた具体的な提案・話、言い換えると具体的にこうしていく、他責ではなく自分事としての提案を求める。
- ・条例どおりに進めていくためには、市民及び事業者が自由に意見交換する場を設置する必要がある。
- ・4月以降の環境ひろばについては未定である。
- ・関わる人を増やすことに腰を据えて取組んでいく。

（2）環境ひろばとしての意見

- ・参加者個々の発言はあったが、環境ひろばとしての意見集約はなかった。
→全体会の概要は「ひろばニュース第207号」にまとめて発行済

2. 環境ひろば全体会の開催意向確認と開催通知の送付

市：ゼロカーボン課にて公共施設の部屋を4月19日の午前中の枠で予約（環境ひろば会則では、全体会は原則、月1回、第3日曜日午前10時より開催することとしている）し、環境ひろば会員に対して、職員は同席しないことを知らせると共に全体会の開催意向を確認した。

→運営委員会を行い、開催することを決定したという返答があったため、環境ひろば会員に対して、全体会の開催通知を送付した。

3. 4月19日開催の環境ひろば全体会の議事要約（ひろば会員作成）から

■決定事項

- ・次回の環境ひろば全体会に事務局としての出席をゼロカーボン課に求める。

- ・ 次回のテーマを「今後の環境ひろばのあり方」とし、事務局と重要な論点を議論する。

■議事概要

今回の環境ひろば全体会のあり方をテーマに主に次の点を確認した。

- ・ 環境ひろばは、市が設置する責任を負っていること。
- ・ 市が設置する環境ひろばのあり方の説明が不足していること。
- ・ 事務局のゼロカーボン重視の方針は、環境ひろばのメンバーの関心と一致する。

→ゼロカーボン目標において環境のテーマの範囲は非常に広い。

- ・ 参加者から挙げた環境ひろばのあり方の様々な課題の解消に向けた、事務局との協議の必要性

■次回の環境ひろばの議題

参加する人を増やす方法

- ・ (前回の事務局の発言を受けて)

市が設置する環境ひろばのあり方の説明とQ & A

市が設置する責任を負っている、環境基本条例に基づく環境ひろばについて、次の項目の内容と環境基本条例との整合性の説明が不十分であり、疑問点を解消したい。

- ・ 市が設置する責任を負っている、環境基本条例に基づく環境ひろばの意義
- ・ 市が描く、環境ひろばのあるべき姿とその要件
- ・ 市が目指す、今年度の環境ひろばの目標
- ・ 昨年度の環境ひろばの新たな模索の取り組みの振り返り。
- ・ 市が計画した、今年度の環境ひろばの年間活動予定

＜4月の全体会の後、ひろば会員からゼロカーボン課に全体会への出席依頼があった＞

市：ゼロカーボン課が業務として実施する、以下の内容をひろば会員に案内した。

- ・ 会場の予約、ひろば会員へのお知らせ。

※会議には同席いたしません。

4. 5月17日開催の環境ひろば全体会の議事要約(ひろば会員作成)から

■フリートーク「今後の環境ひろばについて」

(1)「環境ひろば」の開催

「環境ひろば」は市の出席が必須と考える。私たちは市に対して市の出席を訴え続けながら環境ひろばを開催することとする。

(2) 7月度のフリートークのテーマ

市報に掲載されることもあり、最近の市街地へのクマ出没等から話題性のあ
る以下とし、参加者増を目指したい。

テーマ「野生生物との共存」とし環境アドバイザーを招きたい

(3) 今年度の年間の環境ひろばの開催予定日を確認した。

以降、開催の変更の必要がある場合のみ、ゼロカーボン課に連絡する。

(4) 8月度以降の年間のフリートークのテーマ

環境基本計画（ゼロカーボンや生物多様性）などを参考にみなさんで考えて
きてほしい。

以下は候補として発言のあったテーマ

玉川上水（小平市や環境アドバイザー）、木々が危い、ウォーカブルシティ、
断熱、市内の事業者（市民電力等）のお話し、野川

(5) ゼロカーボン化※にひろばのあり方について提案する

※市にて追記：「化」→「課」と思われる。

5. 6月21日開催の環境ひろば全体会の議事要約(ひろば会員作成)から

■環境ひろばの意見

提案に向けた対話の機会を呼びかけており、今後も対話の機会を呼びかけ
る。

■年間計画

- ・今年度の環境ひろばのテーマの案を議論した
- ・議論した素案をもとに、運営員会で整理する

■今後の予定

- ・7/12 全体会 アクティ・ココブンジ 会議室B
テーマ「野生生物との共存」
- ・8/16 全体会 アクティ・ココブンジ 会議室B
テーマ「環境基本計画の概要と状況の市民向け説明会」
市の担当者に説明していただく

＜6月の全体会の後、ひろば会員からゼロカーボン課に8月の全体会への出席依頼があった＞

市：再度、ゼロカーボン課が業務として実施する内容をひろば会員に伝え、くわえて以下の案内をした。

市：「環境基本計画の概要と現状については計画をお読み取りください。8月の全体会への担当者の出席については、目的、必要性、合理性等について明確にさせていただいてからの判断となります。」

6. 7月12日開催の環境ひろば全体会の議事要約(ひろば会員作成)から

- ・環境アドバイザー 中島慶二さんをお招きし、「野生生物との共存」のテーマで講演と質疑応答に対応していただいた。

※市にて講演内容等の記載は割愛

- ・新規参加者に簡単な環境ひろばの紹介と次回8月の環境ひろば「テーマ：第三次環境基本計画について」の予告をした。

＜7月の全体会の後、再度、ひろば会員からゼロカーボン課に8月の全体会への出席依頼があった＞

ひろば会員からの出席依頼理由（①～③）に対して、市は以下の案内をした。

ひろば会員：①「オール国分寺」で実現することを目指す以上、市民別けても環境に関心のある市民の理解は重要である。

市：「多くの市民が学びや体験の場に参加し、自ら行動することによって、環境活動の輪が広がっている」ことを2030年度目標としています。基本計画のP.73「第5章 施策の展開 戦略0」をご確認ください。

ひろば会員：②第二次環境基本計画と大幅な体系変更があり、環境に関心のある市民にとっても分かりにくい。

市：基本計画のP.60 第3章「4 前計画の総括評価と第三次環境基本計画に向けた取組の方向性」をご確認ください。

ひろば会員：③策定後1年半を経過していることから最新の実施状況（概況）も可能な範囲で聞きたい。

市：最新の環境報告書：市HP（番号1038059）をご確認ください。

市：「上記の内容を読んだ上で、参加者間で意見を自由に交換してください。意見交換の結果、分からないこと、聞きたいことが出てきた場合は、別途お問い合わせください。」

7. 市と環境ひろば会員との考え方の相違(=平行線)の改善に向けた留意点

- (1) 情報の土台は共有されているか？
→環境基本条例、環境基本計画、環境ひろば全体会の議事要約などがある。
- (2) 共通の目的を持っているか？（注意：手段が目的化していないか？）
→環境基本計画は「多様で複雑化した環境問題に対応し、良好な環境を次世代に引き継ぐ」ことを目的としている。
- (3) 相手の話を傾聴しているか？（注意：考え方の相違の本質はなにか？）
- (4) 責任を持って発言しているか？（注意：他責になっていないか？）
- (5) 理由や根拠を示しているか？（注意：誤認をしていないか？）
- (6) 小さくても合意を積み重ねて行くことができるか？
→市は「今後の環境ひろば」を走りながら考えていくとしている。
- (7) 最終的な合意が困難な場合はどうするのか？
→第三次国分寺市環境基本計画では、戦略0の基本方針0-4に「多様な主体によるパートナーシップの充実・強化（つながる・広がる）」を掲げている。会則に基づく環境ひろばは、多様な主体のひとつとして動いていくことができる。